

【イベントレポート】

大学生のための企業の見かた・選びかた supported by リース事業協会

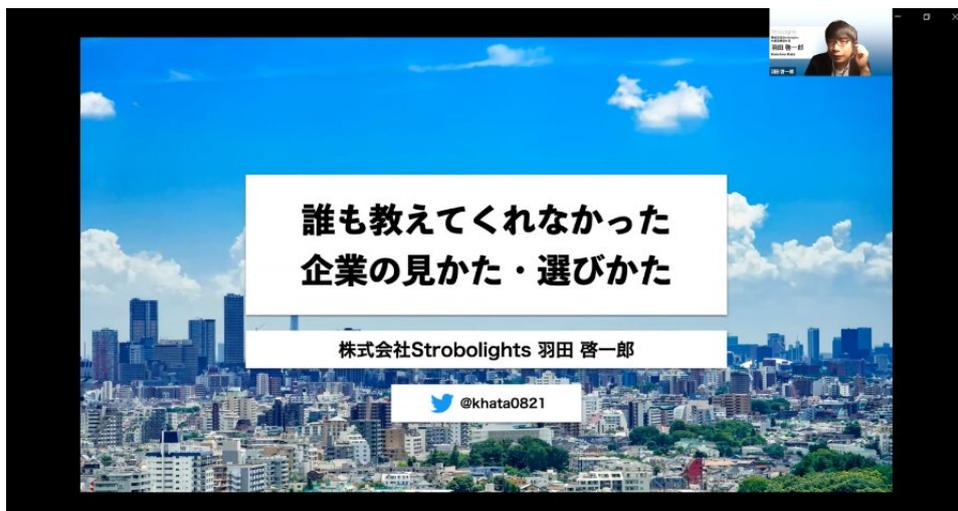


あらゆる会社の企業活動を支えるもの。それは「リース」という仕組みです。国内企業の約9割が利用しているリースとはどんなビジネスモデルなのか？ インターンシップや就職活動をはじめめる学生に必要となる「業界研究」のスキルを元に、リース業界の魅力を深掘りするウェビナーが、2020年12月に開催されました。

<INDEX>

1. 誰も教えてくれなかった企業の見かた・選びかた
2. リース業界の隠れた実力と未来の展望
3. リース会社での働き甲斐とやりがい
4. 学生が感じたリース業界の魅力

誰も教えてくれなかった『企業の見かた・選びかた』

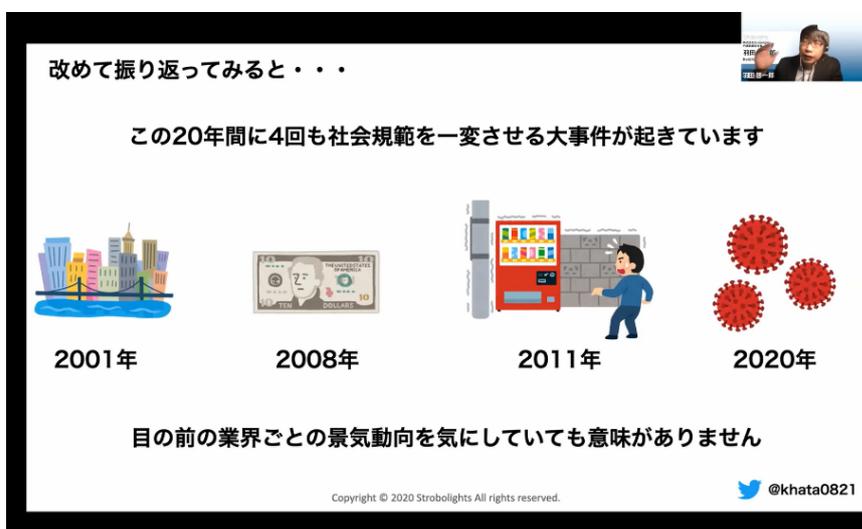


第一部では、学生向けキャリア支援などを手がける株式会社 Stroblights 羽田啓一郎さんを講師にお招きし、アフターコロナの企業選びについて解説してもらいました。



羽田さん

これから就活をはじめようとする学生のみなさんは『どの業界が伸びるの?』など、コロナ禍による企業の変化が気になるのでは? だけど、ここ20年だけでも従来の社会規範が様変わりすることはいくつも起きました。今後は人口問題やAIの台頭など、もっと変化していきます。そう、社会は常に変わり続けるものです。





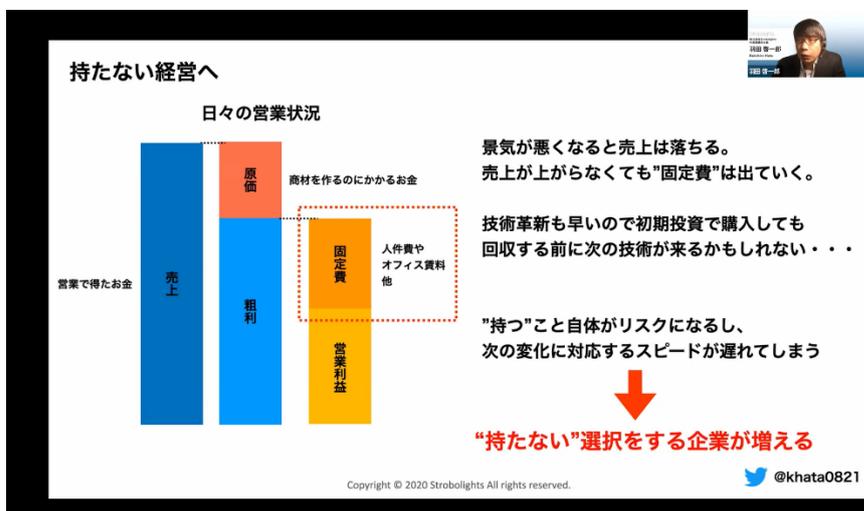
羽田さん

これからの企業を見きわめる視点のひとつは「**変わる力があるか?**」。経営や企業風土、社内の仕組みなど、その時々**の社会情勢**に応じて会社も柔軟に変化できれば、取り残されることなく成長し続けることができます。



羽田さん

すでに変わり始めようとしている企業もあります。そうした企業にみられる特徴が「**持たない経営**」。例えば、設備や備品などの企業活動に必要なものを「持つ」のではなく「借りる」ことで、次なる変化にスピーディーに対応できます。そうした企業を支えるのがリース業界。先行きが不透明な時代だからこそ、リース業界はますます注目を集めていくと考えています。



<リース事業についてもっと知りたい>

<https://www.leasing.or.jp/>

リース業界の隠れた実力と未来の展望



注目のリース業界を深掘りするべく、公益社団法人リース事業協会 広報調査委員会 副委員長の前田実さんに、羽田さんがインタビューしました。



羽田さん

どのようなものをリースできますか？



前田さん

リースの対象となるものには、パソコンや事務機器、自動車などのほか、電車や自動販売機、ATM、航空機や医療機器などもあります。



羽田さん

どうして企業は「持つ」よりも「借りる」を選ぶのでしょうか？



前田さん

リースは、企業が必要なモノをリース会社が代わりに購入し、定額で貸し出す仕組みです。高額なモノでも月々のリース料を支払えば導入できますし、税金や保険といった設備を所有するための手続きもリース会社が行うため、企業の業務負担を減らせるメリットがあるからです。



羽田さん

リース業界で働くことで身につくスキルは？



前田さん

リースは扱う品目がたくさんありますし、顧客の業種も実にさまざま。それだけに視野が広がりますし、会計や財務などといった知識も身につきます。お客さまに求められるものを提供するだけでなく、お客さまとの会話の中からヒントを得て、新しいビジネスをご提案することもありますから、プレゼン能力も身につきます。

<リース事業についてもっと知りたい>

<https://www.leasing.or.jp/>

リース会社での働き甲斐とやりがい

リース会社の仕事

リース
ファイナンス×高付加価値

- ファクタリング
- ファイナンス
- リース (分租購入)
- 融資
- 投資
- コンサルティング
- 不動産取引

リースとは

リース会社が代わりに購入し貸し出す
初期投資を抑えた設備投資が可能

リース会社

リース会社を選んだ理由

- 事業領域の広さ
 - リースだけでなく、事業分野(事業投資・運営)の経験も豊富。"金融×商社" 具体的に、不動産、不動産、インフラ、ヘルスケア等。
 - お客様の課題に対して、"できないこと"が少ない。
- 広範な顧客対象
 - 顧客基盤があることで、企業活動において、提案することに注力することが可能。
- その他
 - 会社の規模、社風など

働くやりがいや面白み

- 様々な知識が身につく
- BtoBだからこそそととの信頼関係構築を感じる
- 思いをカタチにしやすい

働くやりがい、面白み

やりがいを感じる瞬間…

- お客様のリースの依頼の幅が広がってきたとき
- お客様の課題を解決し、自分のやりがいを感じたとき
- 今まで以上にやりがいを感じたとき
- 自分のスキルが活かされたとき
- 社内の先輩、上司から、営業活動の成功を褒められて評価を受けたとき

面白みを感じる瞬間…

- お客様の会社の中で、個人でリースの担当ができたとき
- リースのスキルが実務に活かされ、お客様の課題を解決したとき
- チーム、サプライヤーの協力により、お客様の課題を解決したとき
- 個人で営業活動の成功を褒められて、モチベーションが上がったとき

リース会社での働き甲斐とやりがい

Q: 今どのような仕事をしているか

A: 広報業務
⇒メディア対応、HP運営、社内イベント、スポンサー・広告 etc.

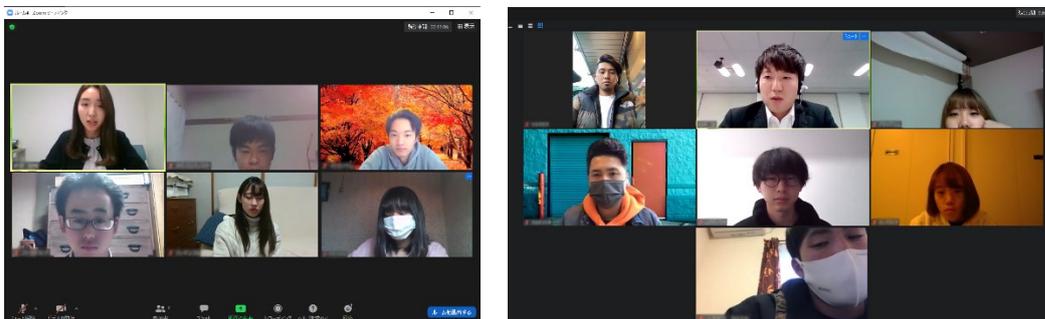
Q: なぜこの会社を選んだのか

A: グローバルと若手の両強種 (経営戦略の軸)
⇒リース業界は幅広い事業をベースに海外展開に積極的
リース業界の特色として新卒採用があまり多くない
⇒新卒でも活躍の場が広い！と覚えてきました。

※リース会社で働く6名の社会人のプレゼンテーション (抜粋)

ここからは第二部として、グループに分かれ、学生のみなさんとリース会社で働く6名の社会人の方とのトークセッションが行われました。

今どんな仕事をしているのか？ なぜこの会社を選んだか？ やりがいや面白み、そしてリース会社に入ってどんな面が成長したと思うかといったお話しをお聞きしました。



Q.

リース会社で働くには、どんな人が向いていますか？

A.

ビジネスセンスを身につけたい人、あらゆる業界の知識を身につけたい人にピッタリだと思います。普段の業務ではいろいろなお客さまとやりとりしますから、コミュニケーションをとることが好きな人にも向いていますね。

Q.

リース会社で働くやりがいは？

A.

なんといっても事業領域が広いこと。事業領域が広いということは、それだけお客さまに対してできることがたくさんあるということです。お客さまのところに伺ったとき、自分が担当した物品を使っていたいただいているところを実際に見かけると、本当にうれしいですね！

Q.

これからリース業界は、どのように発展していくのでしょうか？

A.

すでに国内企業の約9割がリースを活用していることもあり、新規開拓はしにくいと思われるかもしれませんが、決してそんなことはありません。航空機や不動産、太陽光や風力発電といった新たな事業の運営に乗り出そうとする動きが出てきています。リースを通じて幅広い業界に精通しているからこそ、新たな挑戦もしやすい業界なのです！

<リース事業についてもっと知りたい>

<https://www.leasing.or.jp/>

【グループワーク】学生が感じたリース業界の魅力

そして最後に、イベントのまとめとしてグループワークに取り組んでいただきました。リース会社で働く社会人との対話を通して感じた、リース業界の特徴や魅力を発表してもらいました！

プレゼンワークシート（発表用）

Point: 日々成長し続けることができる (リース会社で働く魅力)

Reason: 様々な業界と関わることができる (対人スキルが伸びる、知識がつく) (何故そう思ったか?)

Example: 色々な業界を相手に営業ができる (長期であり、扱う金額が高いため、信頼関係を築くことができる)、会計の知識や、相手業界の知識も必要になってくる (どんな意見、感想が出たか)

Point: 日々成長し続けることができる (最後のまとめ)

みんなで話し合った内容をPREP法のフレームワークに沿って整理しましょう。誰が発表するかも決めておいてください！

Copyright © 2020 Strobolights All rights reserved. @khata0821

学生より「リース会社で働くには、多種多様なお客様のお話を聞き、課題を見つけ提案するスキルが必要であると感じました。専門知識の勉強や、色々な分野の情報収集をする必要があるため、自分自身も成長しつづけられる業界だと感じました。」

プレゼンワークシート（発表用）

Point: ①新規ビジネスに携われる。②いろいろな商品と関わられる。③いろいろな業種と繋がる。 (リース会社で働く魅力)

Reason: ① 1つだけでなく常に新しいビジネスに関われる (他に無い魅力)、② やりたいことを1つに絞らなくても良い (何故そう思ったか?)

Example: ① かつを経験できる。リスクが少ない立場で (業種に回われない幅広い知識が得られて第2キャリアに活かせる)、無理して業界を絞らなくてよい (どんな意見、感想が出たか)

Point: やりたい事が明確じゃない人におすすめしている業種と関わっていきたくて将来のキャリア幅を広げたい人 (最後のまとめ)

みんなで話し合った内容をPREP法のフレームワークに沿って整理しましょう。誰が発表するかも決めておいてください！

Copyright © 2020 Strobolights All rights reserved. @khata0821

学生より「今回のイベントに参加して、『新規ビジネスで0→1を経験できること』、『あらゆる業界と仕事ができるチャンスがあること』がリース業界の魅力だと感じました。どんな業界で仕事がしたいのか明確でなくても、さまざまな業界とつながりを持つことができ、将来のキャリアの幅を広げられることは、就職活動をする上でも魅力的に感じました。」

**学生に聞きました！
ウェビナーを通じて感じたこと**

<コメント>

長野さん（大学1年）

ワークショップではいろいろな大学の学生の皆さんや社会人の方とお話ししながら、リースというものを楽しみながら知ることができました。リース業界で働くことは、自分のキャリアを広げていくことにもつながると思います。

<コメント>

谷本さん（大学2年）

リース会社のみなさんが幅広い業界に携わっていて、これからも新しいことに積極的に進出しようとしている姿勢がとても印象に残っています。仕事を通じて多様な経験ができることは、リース業界ならではの感想でした。

<まとめ>

生活様式が目まぐるしく変化するこの時代に、多くの会社を支えているリースというビジネスへの知識を深めながら、実際にそこで働く社会人のリアルな話を聞き、リースが身近に感じられたり、これからはじまる就活やインターンで、将来を考える上での選択肢が広がるイベントとなりました。ぜひみなさんも自分の身近なリース、将来の選択肢としてのリースに目を向けてみてくださいね。



リース事業協会は、全国のリース会社を会員とする公益社団法人です。2020年12月時点の正会員数は86社。なかには日本のみならず、海外にまでビジネスを展開するリース会社があります。近年、多くの企業の課題となっている人手不足による省力化や合理化を解決するうえで、リース事業に寄せられる期待は高まるばかり。今後、ますますの成長が期待できる分野です。

<https://www.leasing.or.jp/>

提供：公益社団法人 リース事業協会